

vol.4

Quarterly Report

四半期活動レポート(2021年7月-9月)

Fukuoka
Smart City
Community

CONTENTS

四半期活動レポート (2021年7月-9月)

P. 01 > **Fukuoka Smart City Community**について

P. 02 > **進捗のご報告**

① アマビエちゃんを用いた福岡市のワクチン接種案内

P. 03 > ② FUKUOKA SMART CITY AWARD募集開始

P. 04 > **その他の共創プロジェクト**

■ 鉄道×バス×商業施設「天神・博多 乗レール買エールチケット」販売

■ FUKUOKA OPEN TOP BUS 福岡空港内を走行する
「福岡空港ビューンとツアー」実施

P. 05 > **定例での活動について**

- 全体会議 (毎月1回)
- 「プロジェクトF」



Fukuoka Smart City Community

Fukuoka Smart City Community について

強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、レジリエンスの高いまちを実現する

「Fukuoka Smart City Community(以下 FSC)」は2020年10月、LINE Fukuoka株式会社を発起人とし、福岡を代表する 異業種9社で協働、福岡市をオブザーバーに迎えた共同事業体として発足しました。この共同事業体を通して、福岡市を、行政・市民・企業の枠組みに捉われず、解決したい人・解決できる人が互いに協力し合って速やかに問題解決する、「日本で最も課題解決の早い、スマートシティ」へと変化させ、「100年先でも、選ばれるまち、Fukuoka」を目指しています。



※福岡市はオブザーバーとして参画

大テーマ	中テーマ	小テーマ※
市民と共に行う、 レジリエンスの高い まちづくり	感染症流行下での変化に しなやかに対応できるまち	● 飲食店支援（継続） ● 上記以外のテーマでの支援
	自然災害に素早く対応、 復興できるまち	自然災害への 事前・最中・事後対応

※その他、福岡市民の課題解決に資すること

福岡市を含む九州地域では、近年、地震や台風による災害被害が続いています。また、感染症の流行は、市民の行動や意識も大きく変えるきっかけとなりました。我々会員企業は、そうしたその時々が発生する市民の課題を、個々の企業や団体同士での協業以上にスピード感を持って解決することを目指し、共同事業体を通して各施策の検討と実施を進めています。

進捗のご報告

FSCは2021年10月14日で発足1周年を迎えました。

2年目は、組織の行動指針である「市民の課題を解決する」「自治体/企業/市民のセクショナリズムを超える」「スピード重視でアウトプットする」をより具体的な行動で示してまいります。

1

アマビエちゃんを用いた福岡市のワクチン接種案内

■ 企業・自治体が一丸となって市民へ呼びかけ

福岡市の64歳以下を対象にした新型コロナウイルスワクチン接種予約が本格スタートした2021年7月。FSCとアマビエちゃん制作委員会がコラボし、福岡市のワクチン接種予約スケジュールを案内する広報活動を行いました。



▲西鉄電車 駅ホームの様子
(アマビエちゃん制作委員会[公式]Twitterより)



▲福岡市地下鉄 駅構内の様子
(アマビエちゃん制作委員会[公式]Twitterより)

年齢区分	予約開始日
基礎疾患がある方	接種券が届き次第
60歳～64歳の方	接種券が届き次第
50歳～59歳の方	7月12日(日)
40歳～49歳の方	7月15日(水)
30歳～39歳の方	7月19日(日)
29歳以下の方	7月22日(水・祝)

予約はネットがおススメ。福岡市HPやLINE公式アカウントへ。サイトとべるよ。

接種券番号を入力して！

予約完了!! 今すぐ確認！

ワクチン接種予約 フロントサイト

Fukuoka Smart City Community

アマビエちゃん公式HPで感染予防やワクチン接種の注意点を読めるよ。

▲特別描き下ろしマンガ

▶ プロジェクト概要

背景課題/ニーズ

近年では過去に例のない、まちを挙げての大規模ワクチン接種。

ワクチン接種予約に関する基本情報をより多くの市民に認知してもらう必要があった

福岡市の電話予約窓口がバンクする可能性があり、できるだけネットでの予約を推奨する必要があった



実施事項

- 1 福岡市のワクチン予約を題材にした描き下ろしマンガの制作
- 2 FSC会員のアセットを用いた市民への呼びかけ
 - ① オンラインでの告知 (計約20媒体)
LINE/Twitter/Facebook/社内イントラなど
 - ② オフラインでの告知 (計約1,230箇所)
西鉄電車車内・駅構内、ホーム/西鉄バス車内/福岡市地下鉄駅構内など

▶ 結果進捗

会員企業各社と福岡市が持つ告知ツールを合わせて、オンラインでは計約20媒体から、オフラインでは計約1,230箇所にて市民へ情報発信を行うことができました。領域や業種の異なる企業・団体が集まるFSCならではのスケールメリットを有効活用できた好例と捉えています。なお、2021年10月中旬時点での福岡市における12歳以上の住民のワクチン接種状況(2回目完了率)は75%(※)で、全国20政令指定都市の中でも高い水準となっています。今後もその時々状況に応じて、タイムリーな情報発信などを検討していきます。 ※出典:福岡市ホームページ



▲福岡空港LINE公式アカウントからの発信内容

▲西日本シティ銀行公式Twitterアカウントからの発信内容



福岡市(新型コロナウイルスワクチン接種担当)

- FSCと共働で啓発に取り組み、接種数は順調に推移しています。
- ワクチン接種予約の大部分がネット経由であり、電話受付窓口では予約以外の相談も受けています。

2

FUKUOKA SMART CITY AWARD 募集開始

■ 「市民と一緒に創る、レジリエンスが高いまち福岡」を具現化

2021年7月30日より、会員企業8社で協働し、大学生向けアイデアアワード「FUKUOKA SMART CITY AWARD」を実施中です。福岡の未来を担う大学生から街をより良くするアイデアを募集し、グランプリを受賞したアイデアは、FSC会員企業と共に磨き上げを行い、社会実装を目指します。アイデアをアイデアだけで終わらせず、市民と共にプロジェクト化し、社会実装を本気で目指す企画です。

▼詳細(特設サイト): <https://fukuoka.smartcity-community.jp/award/202107/>

大学生の創造力×企業のアセットをかけあわせ、福岡の未来を創るアワード

<p>大学生なら誰でもエントリー可能</p> <p>※部・学科は問いません。あなたが思う課題と解決のアイデアを自由にフォームに書いてください。</p>	<p>賞金はファイナリスト全員に</p> <p>グランプリ(1名)には15万円、グランプリ以外のファイナリスト(4名)には賞金5万円を授与します。</p>	<p>メンターとアイデアを雇ける</p> <p>メンターとアイデアを雇けるFSCの会員企業のメンターが、ファイナリスト(5名)と一緒にアイデアのアタッチアップを行います。</p>	<p>社会実装を目指す</p> <p>アイデアの有用性が認められた場合、FSC会員企業にて社会実装が図れます。 ※社会実装の実現事業は「多額費用」をご確認ください。</p>	<p>九州を代表する異業種のリーダーたちがバックアップ</p> <p>あなたのアイデアと一緒に頂くのは、九州を代表するインフラ・交通・不動産・金融・IT企業等の第一線で活躍するリーダー達です。</p>
---	---	---	--	--

▲FSCアワードの特長

名称 : FUKUOKA SMART CITY AWARD
 応募資格 : 日本国内在住の大学生・大学院生
 応募テーマ : 「市民と一緒に創る、レジリエンスが高いまち福岡」
 表彰 : 賞金グランプリ15万円、ファイナリスト5万円
 最終選考会場 : 1次選考の通過者へ個別にご案内します。

応募スケジュール	募集期間	2021年7月30日(金)~2021年9月19日(日)
	1次選考(書類)結果通知	2021年10月中旬頃
	メンタリング期間	2021年10月25日(月)~2021年11月12日(金)

最終選考会/2021年11月中旬予定

応募方法: 特設サイトを参照ください。 <https://fukuoka.smartcity-community.jp/award/202107/>

▲FSCアワード募集ポスター

その他の共創プロジェクト

■ 鉄道×バス×商業施設「天神・博多 乗レール買エールチケット」販売

(西日本鉄道株式会社(事務局)/九州旅客鉄道株式会社(事務局)/株式会社エフ・ジェイエンターテインメントワークス(※)ほか)
2021年7月22日～8月29日(緊急事態宣言を受け8月9日で販売終了)

JR九州の列車や西鉄電車・バス、天神・博多の商業施設の特典を掛け合わせた連携チケット「天神・博多 乗レール買エールチケット」の販売を、トヨタファイナンシャルサービス株式会社が提供するマルチモーダルモビリティサービス「my route」内にて開始しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて依然厳しい状況が続く列車・バスなどの公共交通や天神・博多などの都心部に位置する商業施設の賑わいを取り戻すべく、天神・博多の“まち”が一体となって取り組んだ施策です。 ※福岡地所株式会社(FSC会員)のグループ会社

▼詳細：https://www.nishitetsu.co.jp/release/2021/21_027.pdf



CANAL CITY HAKATA 2021 ©FJ. Entertainment Works

■ FUKUOKA OPEN TOP BUS 福岡空港内を走行する「福岡空港ビューんとツアー」実施

(西日本鉄道株式会社/福岡国際空港株式会社)
2021年9月22日発表

福岡空港内の普段は立ち入ることができないエリアをオープントップバスで走行する特別ツアーを、11月6日(土)、7日(日)の2日間限定でイベント運行します。

両者では、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要を取り戻すとともに、既存の施設やサービスを活用した福岡観光の新たな価値創造と賑わい創出を目指します。また、今後も、福岡空港が飛行機のご利用以外でも楽しんでいただけるスポットとなるようなサービスの提供に努めます。

▼詳細：https://www.nishitetsu.co.jp/release/2021/21_048.pdf



定例での活動について



※写真はイメージです

▶全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

7~9月期には以下の日程にて実施しました。

● 7月8日(木) ● 8月5日(木) ● 9月2日(木)

※オンラインにて実施

▶「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで見聞を共有するプロジェクト。テーマは各社自由。

7~9月期には以下の企業が発表を行いました。

- 7月: 嘉穂無線ホールディングス株式会社「変化する社会を的確に捉え、社会の問題解決を事業の柱に」
- 8月: 福岡地所株式会社「天神ビジネスセンターについて」 ● 9月: 福岡市「公民連携ワンストップ窓口 mirai@」

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、レジリエンスの高いまちづくりを行ってまいります。

〈Fukuoka Smart City Community 概要〉

名称/Fukuoka Smart City Community

事務局所在地/福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日/2020年10月14日

主な事業内容/市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト/<https://fukuoka.smartcity-community.jp>